

2. 火山の概況 (平成 15 年 1 月 23 日 ~ 平成 15 年 1 月 29 日)

岩手山では一時的に噴気が高くなった。三宅島では噴煙活動が継続した。阿蘇山では孤立型微動の多い状態が継続した。諏訪之瀬島では噴火があった。



図1 記事を記載した火山

表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	雌阿寒岳	岩手山	箱根山	三宅島	阿蘇山	桜島	諏訪之瀬島
5	1/23- 1/29							
4	1/16- 1/22							
3	1/ 9- 1/15							
2	1/ 2- 1/ 8							
1	12/26- 1/ 1							

注1 記号の意味

- ：噴火した火山
- ：観測データ等に变化があった火山
- ：前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

注2 本文の火山名の後ろの[]内の[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ等を示す。

岩手山 [噴気]

26日に黒倉山山頂の噴気の高さが200mに達した(前期間150m、最近の平均的な高さは50m程度)。ただし、26日頃は寒気が入り、噴気が高くなりやすい気象条件であった。

その他の観測データに特段の異常な変化はなかった。

三宅島 [地震・噴煙]

振幅の小さいやや低周波地震が、27日10時台に4回、28日14時台に8回と一時的にまとまって発生したが、震度1以上を観測した地震、振幅のやや大きな低周波地震、微動は発生しておらず、地震及び微動の活動は全体的に低調であった。

白色噴煙は連続的に噴出しており最高は火口縁上1000m(25日)であった(前期間600m)。

GPS観測では、収縮の傾向にあった三宅島の地殻変動は収縮率が小さくなり、静穏期にもみられるわずかな膨張に転じている(図2)。

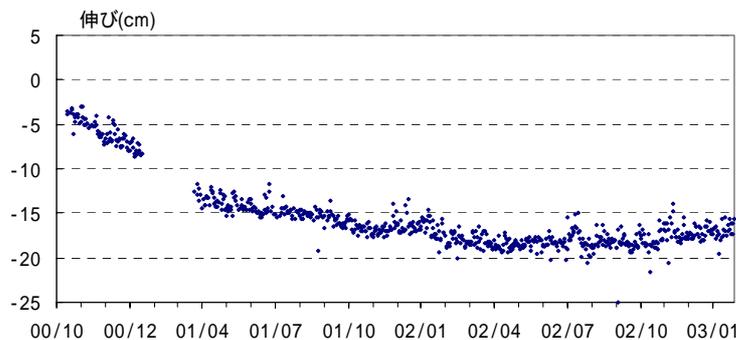


図2 三宅島 GPS観測結果 阿古(島の西部) - 坪田(島の東部) 基線長 (2000年10月1日 ~ 2003年1月29日)

阿蘇山 【微動】

孤立型微動の多い状態が継続している。今期間の発生回数は1日当たり175～295回、合計は1,770回（前期間1,271回）であった（図3）。

地震の回数は少ない状態が続き、1日当たり3～8回で、合計は39回であった（前期間22回）。白色噴煙は連続的に噴出しており、最高は火口縁上500m（25日）であった（前期間300m）。

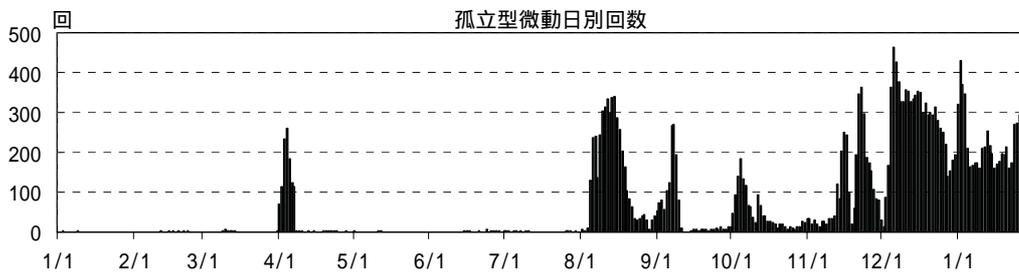


図3 阿蘇山 孤立型微動 日別回数
(2002年1月1日～2003年1月29日)

諏訪之瀬島 【爆発・鳴動・微動】

期間中、爆発的噴火が23、28日に1回ずつ、計2回発生した（前期間なし）。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、島内の集落（御岳の南南西約4km）で、26、28、29日に時々鳴動が聞こえた。降灰は確認されなかった。

噴火活動の活発化を示す微動の発生状況は、連続微動が24日22時02分～25日00時56分、25日04時06分～06時16分及び25日07時26分以降30日24時現在まで、それぞれ発生している。

表2 火山情報発表状況

火山名	火山情報名	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第41号 (1日2回発表)	23日 09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）
	火山観測情報第54号	29日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第4号	27日 10:30	孤立型微動の多い状態が継続、中岳第一火口の噴煙活動・湯だまりの状態に大きな変化なし